

【給食調理場編】

このシートは、

2022

調査実施分

No.

117

2021

ファシリティコスト分

57,566 人

北広島市 公共施設カルテ

調査実施年度

令和4年度

施設名	学校給食センター			
-----	----------	--	--	--

大分類	学校教育系施設	中分類	その他教育施設	施設番号	117
-----	---------	-----	---------	------	-----

所管部課	学校給食センター
------	----------

1 土地データ

所在地 (地区)	朝日町5丁目1番地4 (東部)	敷地面積	5,808 m ²
		うち借地面積	- m ²

2 建物データ

複合・併設施設	-			建築年度	昭和48年度
建物構造	S	延床面積	917 m ²	経過年数	49年
階数(地上)	2階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定無し
概算更新コスト	302,610千円	法定耐用年数	31年	市民1人当たり更新コスト	5,257円/人

3 管理運営データ

利用状況	R1年度	R2年度	R3年度	平均利用者数	管理形態				
	-人	人	人	-人	市直営				
ファシリティコスト 令和3年度分 施設コスト ①施設維持コスト 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト 公共サービスを提供するために要する経費	内 訳		金額(千円)		内 訳		金額(千円)		
	収 入	利用料等		-		支 出	①施設維持コスト	修繕料	3,557
		国費		-			火災保険料	13	
		道費		-			維持管理委託料	4,965	
		その他		2,929			敷地借上料	-	
		市費(一般財源)		126,580			工事請負費	-	
	合 計		129,509			その他維持費	-		
						小 計	8,535		
						②施設運営コスト	人件費	2,295	
						光熱水費	8,837		
					運営委託料	92,604			
					その他運営費	17,238			
					小 計	120,974			
					合 計(①+②)	129,509			
コスト計算	平均利用者数1人当たり		市民1人当たり		延床面積1m ² 当たり				
単位コスト	-円/人		2,250円/人		141,231円/m ²				



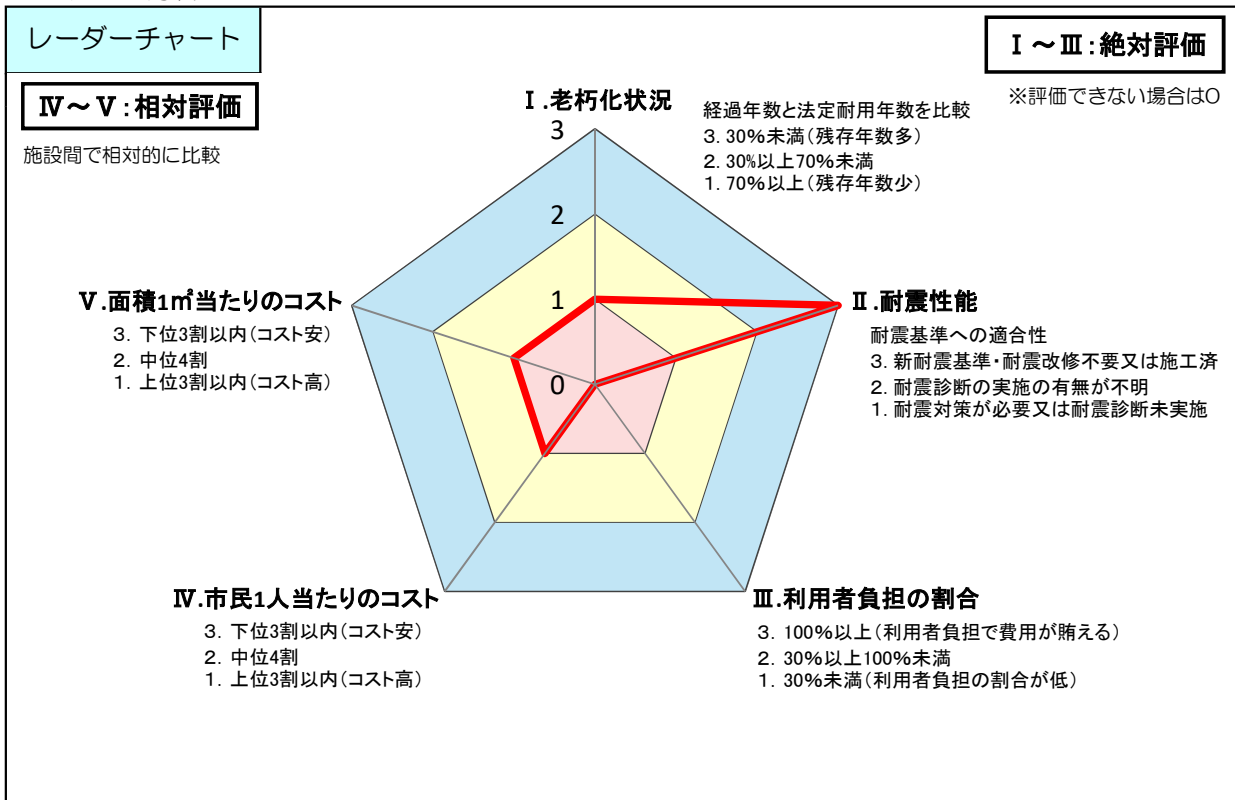
4 修繕履歴

実施年度	内容	工事費(千円)	実施年度	内容	工事費(千円)
H23	耐震補強及び施設改修	25,830			
H24	耐震補強及び施設改修	70,896			

5 特記事項

--

6 データ分析



レーダーチャートで示す5つの指標

I . 老朽化状況	<p>建物の老朽化を示す指標 (%)</p> <p>建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率を%表示 (経過年数÷法定耐用年数) 数値が高いほど老朽化が進んでいる。</p>	158 (%)
II . 耐震性能	<p>建物の耐震安全性を示す</p> <p>耐震性能の有無と対策の必要性を表示 耐震性能あり：新耐震基準で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。</p>	耐震性能あり
III . 利用者負担の割合	<p>ファシリティコストに対する利用料等(利用者負担の割合)を示す指標</p> <p>利用料等÷ファシリティコスト(施設維持管理コスト) 数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</p>	- (%)
IV . 市民1人当たりのコスト	<p>市民1人当たりの施設維持管理にかかるコストを示す指標</p> <p>支出合計÷人口 数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</p>	2,250 (円/㎡)
V . 面積1㎡当たりのコスト	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持管理にかかるコストを示す指標</p> <p>支出合計÷延床面積 数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</p>	141,231 (円/㎡)

総合評価	<p>経過年数から老朽化が進んでいると判断(I)。耐震性能を有している(II)。</p> <p>利用者負担は評価できない(III)。市民一人当たりのコストが大きい(IV)。</p> <p>市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは高い(V)。</p>
-------------	--

このシートは、

2022

調査実施分

No.

118

2021

ファシリティコスト分

57,566 人

北広島市 公共施設カルテ

調査実施年度

令和4年度

施設名	広葉中学校給食調理場			
-----	------------	--	--	--

大分類	学校教育系施設	中分類	その他教育施設	施設番号	118
-----	---------	-----	---------	------	-----

所管部課	学校給食センター
------	----------

1 土地データ

所在地 (地区)	広葉町5丁目1番地 (北広島団地)	敷地面積	36,654 m ²
		うち借地面積	- m ²

2 建物データ

複合・併設施設	-			建築年度	平成12年度
建物構造	RC	延床面積	861 m ²	経過年数	22年
階数(地上)	2階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定無し
概算更新コスト	284,130千円	法定耐用年数	41年	市民1人当たり更新コスト	4,936円/人

3 管理運営データ

利用状況	R1年度	R2年度	R3年度	平均利用者数	管理形態			
	-人	人	人	-人	市直営			
ファシリティコスト 令和3年度分 施設コスト ①施設維持コスト 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト 公共サービスを提供するために要する経費	内 訳		金額(千円)		内 訳		金額(千円)	
	収 入	利用料等		-	支 出	①施設維持コスト	修繕料	2,919
		国費		-		火災保険料	14	
		道費		-		維持管理委託料	1,222	
		その他		-		敷地借上料	-	
		市費(一般財源)		58,492		工事請負費	-	
	合 計		58,492		その他維持費	-	小 計	4,155
	②施設運営コスト	合 計(①+②)		58,492		人件費	2,420	
		平均利用者数1人当たり		市民1人当たり		光熱水費	13,844	
		延床面積1m ² 当たり		延床面積1m ² 当たり		運営委託料	36,157	
単位コスト		-円/人		その他運営費	1,916	小 計	54,337	
コスト計算		平均利用者数1人当たり		市民1人当たり		延床面積1m ² 当たり		
単位コスト		-円/人		1,016円/人		67,935円/m ²		



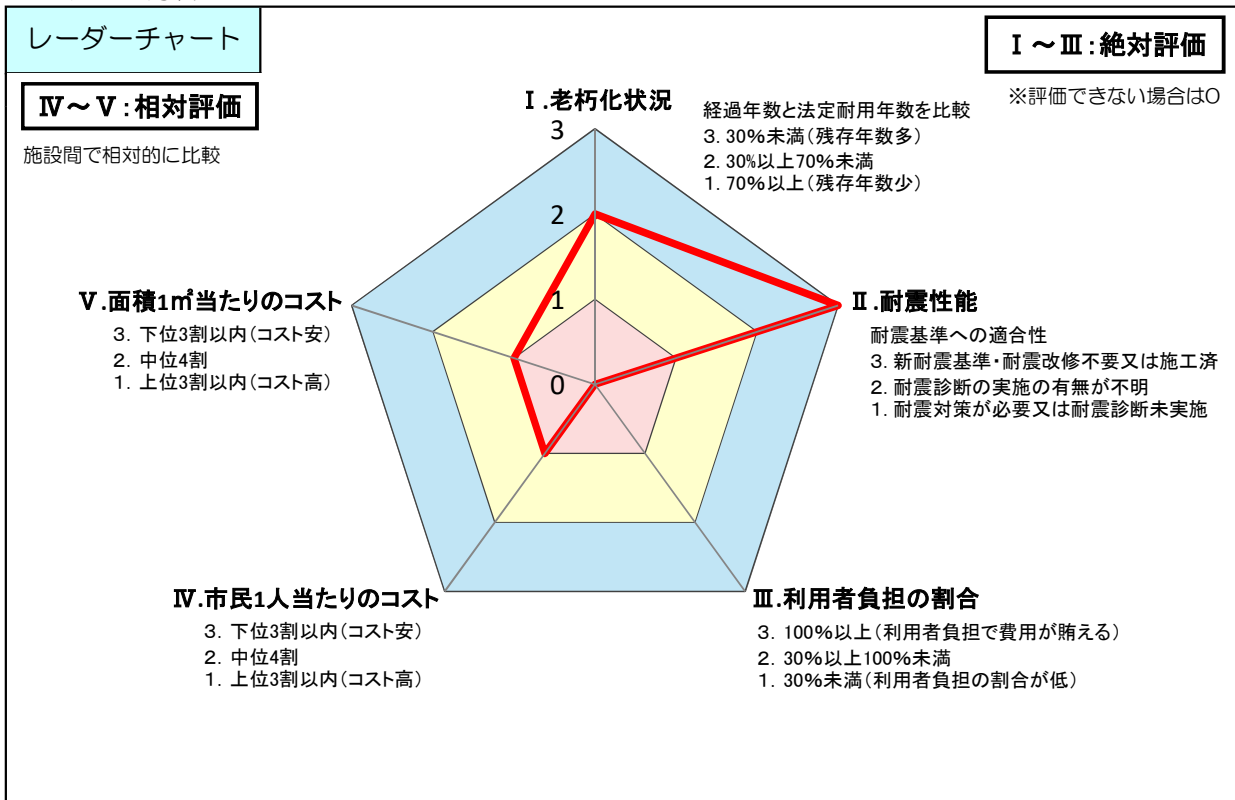
4 修繕履歴

実施年度	内容	工事費(千円)	実施年度	内容	工事費(千円)
H30	広葉中学校給湯配管修繕	7,560			

5 特記事項

ファシリティコストは、西の里中学校給食調理場との延床面積により按分

6 データ分析



レーダーチャートで示す5つの指標

I. 老朽化状況	<p>建物の老朽化を示す指標(%)</p> <p>建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率を%表示 (経過年数÷法定耐用年数) 数値が高いほど老朽化が進んでいる。</p>	54 (%)
II. 耐震性能	<p>建物の耐震安全性を示す</p> <p>耐震性能の有無と対策の必要性を表示 耐震性能あり：新耐震基準で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。</p>	耐震性能あり
III. 利用者負担の割合	<p>ファシリティコストに対する利用料等(利用者負担の割合)を示す指標</p> <p>利用料等÷ファシリティコスト(施設維持管理コスト) 数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</p>	- (%)
IV. 市民1人当たりのコスト	<p>市民1人当たりの施設維持管理にかかるコストを示す指標</p> <p>支出合計÷人口 数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</p>	1,016 (円/㎡)
V. 面積1㎡当たりのコスト	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持管理にかかるコストを示す指標</p> <p>支出合計÷延床面積 数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</p>	67,935 (円/㎡)

総合評価

経過年数から対策の検討時期と判断(I)。耐震性能を有している(II)。
 利用者負担は評価できない(III)。市民一人当たりのコストが大きい(IV)。
 市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは高い(V)。

このシートは、

2022

調査実施分

No.

119

2021

ファシリティコスト分

57,566 人

北広島市 公共施設カルテ

調査実施年度

令和4年度

施設名	西の里中学校給食調理場			
-----	-------------	--	--	--

大分類	学校教育系施設	中分類	その他教育施設	施設番号	119
-----	---------	-----	---------	------	-----

所管部課	学校給食センター
------	----------

1 土地データ

所在地 (地区)	西の里790番1	敷地面積	11,673 m ²
	(西の里)	うち借地面積	- m ²

2 建物データ

複合・併設施設	-			建築年度	平成14年度
建物構造	RC	延床面積	1,282 m ²	経過年数	20年
階数(地上)	2階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定無し
概算更新コスト	423,060千円	法定耐用年数	41年	市民1人当たり更新コスト	7,349円/人

3 管理運営データ

利用状況	R1年度	R2年度	R3年度	平均利用者数	管理形態			
	-人	人	人	-人	市直営			
ファシリティコスト 令和3年度分 施設コスト ①施設維持コスト 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト 公共サービスを提供するために要する経費	内 訳		金額(千円)		内 訳			
	内 訳		金額(千円)		金額(千円)			
	収 入	利用料等		-	支 出	①施設維持コスト	修繕料	7,358
		国費		-		火災保険料	20	
		道費		-		維持管理委託料	3,159	
		その他		358		敷地借上料	-	
		市費(一般財源)		115,636		工事請負費	-	
	合 計		115,994		その他維持費	-	小 計	10,537
					②施設運営コスト	人件費	2,344	
						光熱水費	26,967	
				運営委託料		72,313		
				その他運営費		3,833		
				合 計(①+②)	115,994			
コスト計算	平均利用者数1人当たり		市民1人当たり		延床面積1m ² 当たり			
単位コスト	-円/人		2,015円/人		90,479円/m ²			



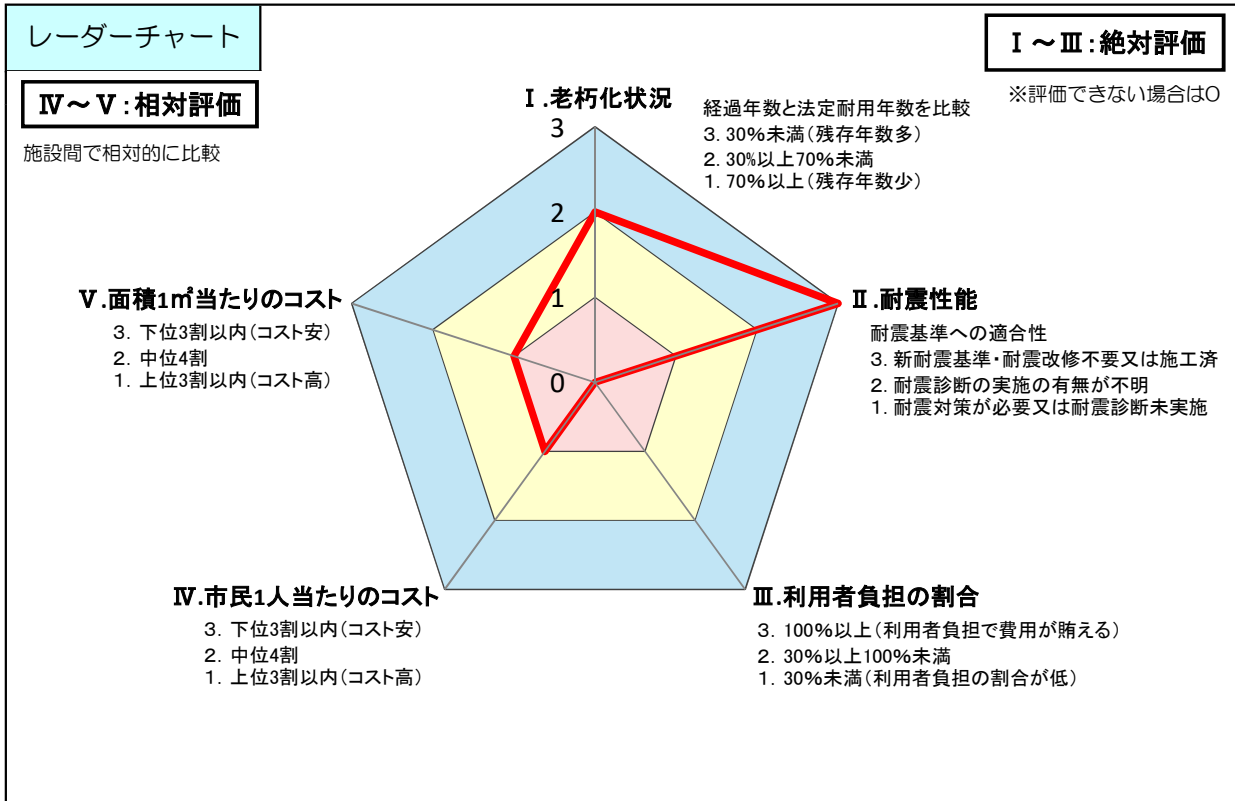
4 修繕履歴

実施年度	内容	工事費(千円)	実施年度	内容	工事費(千円)

5 特記事項

ファシリティコストは、広葉中学校給食調理場との延床面積により按分

6 データ分析



レーダーチャートで示す5つの指標

I. 老朽化状況	<p>建物の老朽化を示す指標(%)</p> <p>建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率を%表示 (経過年数÷法定耐用年数) 数値が高いほど老朽化が進んでいる。</p>	49 (%)
II. 耐震性能	<p>建物の耐震安全性を示す</p> <p>耐震性能の有無と対策の必要性を表示 耐震性能あり：新耐震基準で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。</p>	耐震性能あり
III. 利用者負担の割合	<p>ファシリティコストに対する利用料等(利用者負担の割合)を示す指標</p> <p>利用料等÷ファシリティコスト(施設維持管理コスト) 数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</p>	- (%)
IV. 市民1人当たりのコスト	<p>市民1人当たりの施設維持管理にかかるコストを示す指標</p> <p>支出合計÷人口 数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</p>	2,015 (円/㎡)
V. 面積1㎡当たりのコスト	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持管理にかかるコストを示す指標</p> <p>支出合計÷延床面積 数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</p>	90,479 (円/㎡)

総合評価	<p>経過年数から対策の検討時期と判断(I)。耐震性能を有している(II)。</p> <p>利用者負担は評価できない(III)。市民一人当たりのコストが大きい(IV)。</p> <p>市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは高い(V)。</p>
-------------	--